

使用上のご注意

電源について

家庭用電源コンセント（AC100V）につないでご利用ください。国内用ですので海外ではご使用になれません。

電源コードについて

電源コードを無理に曲げたり、上に重いものをのせたりしないでください。コードに傷がついて火災や感電の原因になります。傷がついたコードは使わないでください。また、電源コードを抜くときは、コードを引っ張らずに、必ずプラグを持って抜いてください。

電源コードをコンセントから抜く場合

電源コードをコンセントから抜くときはスイッチをOFFにしてから抜いてください。

アンプやプログラムソースの電源のON/OFF、スイッチの切り換え時には

アンプの音量を最小にしてください。

留守にするときは

ご旅行などで長い間ご使用にならないときは、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

ウーファースの破損を防ぐために

- 大きな音を出しすぎると、音質を損ねたり、スピーカーが破損する恐れがありますので、LEVEL（音量）つまみの位置にご注意ください。
- スピーカーユニット、エンクロージャーは分解したり改造したりしないでください。

スピーカーの防磁について（テレビ画面に色むらが起きたら）

ブラウン管タイプのテレビやプロジェクターと一緒に使用する場合は十分に（約30cm）離してご利用ください。本機をこれらに近づけすぎると画面に色むらが生じる場合があります。

色むらが起きたら…

- いったんテレビの電源を切り、15～30分後に再びスイッチを入れてください。

それでも色むらが残るときは…

- スピーカーをさらにテレビから離してください。

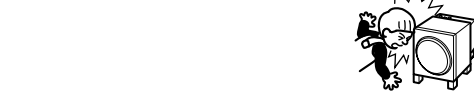
さらに…

- スピーカーの近くに磁気を発生するものがないようにご注意ください。スピーカーとの相互作用により、色むらを起こす場合があります。

磁気を発生するもの……ラック、置き台の扉に装着された磁石、健康器具、玩具などに使われている磁石など。

設置について

- 本機の角だけがなどをしないように、お気をつけください。



- テレビなどの映像機器に接続されたコードを束ねたり折りたたんだ状態で本機の後部に配置しないでください。映像にノイズが出る場合があります。

設置場所について

次のような場所には置かないでください


- 温度の高いところ、直射日光の当たるところ
- ほこりの多いところ
- 湿気の多いところ
- 振動がプレーヤーに伝わる場所（ハウリング防止のため）

特殊な塗装、ワックス、油脂、溶剤などが塗られている床にスピーカーを置くと、床に変色、染みなどが残ることがあります。

ハウリングについて

本機をレコードプレーヤーのそばに置くと、「ポワーン」というハウリング現象が起こることがあります。その時は、レコードプレーヤーと本機を離すか、本機の音量を下げてください。また、まれにカセットデッキやコンパクトディスクプレーヤー、レーザーディスクプレーヤーでもハウリング現象により、音がひずんだり、画像が乱れることがあります。その時も、本機との距離を離すか、音量を下げてお使いください。

ステレオを聞くときのエチケット

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さな音でも周囲にはよく通るものです。

音のエチケット

本体のお手入れのしかた

柔らかい布を水で湿らせ、固くしぼってからふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは、表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

音切れについて

長い時間、または瞬時に大出力でご使用になると保護回路が働き、音が途切れる場合があります。そのときは一度電源を切り再度電源を入れてください。リセットされ、音が出ます。

故障かな？と思ったら

本機の調子がおかしいときは、修理に出す前にもう1度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、ソニーの相談窓口にお問い合わせください。

音が出ない

- オーディオ接続コードのプラグをしっかりと差し込む。
- アンプの音量をあげる。
- LEVELつまみがMINIに近くなっているので、右へ回して音量をあげる。
- アンプのプログラムソースを正しいものに切り換える。
- ヘッドホンが接続されているので、はずす。
- LEVELつまみを調整する。

急に音が出なくなった

- 全ての機器の接続を正しくする。オーディオ接続コードが確実に接続されているか確認する。

音がひずむ

- 入力信号が適正でない。プログラムソースを切り換える。
- 入力信号が大きすぎる。サブウーファースのLEVELつまみを左に回して音量を下げる。
- ドルビーデジタルを再生するときは、カットする周波数をできるだけ高く設定する。

ハム音や雑音が出る

- レコードプレーヤーのアース線をしっかりと接続する。
- オーディオおよびオーディオ接続コードと端子の接続が不充分なので、充分に差し込む。
- テレビからの雑音を拾っているので、テレビとオーディオ機器とを充分に離すか、テレビの電源を切る。

主な仕様

システム形式	バスレフ型　アクティブサブウーファース
使用スピーカー	250 mmコーン型ウーファース
実用最大出力（JEITA*）	100 W
再生周波数帯域	28 Hz ~ 200 Hz
ハイカット周波数	50 Hz ~ 200 Hz
フェーズ切り換え	NORMAL, REVERSE
入力端子	
ライン	ライン入力（ピンジャック）
電源、その他	
電源	AC 100 V, 50/60 Hz
消費電力	55 W
最大外形寸法	0.4 W（スタンバイモード）
	約350 ×350 ×350 mm（幅/高さ/奥行き、グリルネットを含む）
質量	約10 kg
付属品	クッション（4）
	オーディオ接続コード（1）
	取扱説明書（1）
	サービス窓口、ご相談窓口のご案内（1）
	保証書（1）
	製品カスタマー登録のお願い（1）

* JEITA（電子情報技術産業協会）の規格による測定値です。

仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が、添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付の「サービス窓口、ご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではステレオの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間を経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- ・ 型名：**SA-W7700

- ・ 故障の状態：**できるだけ詳しく

- ・ 購入年月日**

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

http://www.sony.co.jp/support

使い方相談窓口		
フリーダイヤル……………	0120-333-020	
携帯電話・PHS・一部のIP電話…	0466-31-2511	
修理相談窓口		
フリーダイヤル……………	0120-222-330	
携帯電話・PHS・一部のIP電話…	0466-31-2531	
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。		

FAX（共通） 0120-333-389

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に**「306」+「#」**を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

http://www.sony.co.jp/